

根室半島シャシ跡群 北海道根室市温根元 59

根室市内には 32 ヶ所のチャシ跡(★)が残り、うち 24 ヶ所は「根室半島チャシ跡群」として国指定史跡に指定されています。根室市内のチャシ跡が築かれた正確な年代は不明ですが 16～18 世紀頃とされています。根室市内のチャシ跡は、海を臨む崖上に半円形や方形の濠を巡らせた「面崖式」(めんがいしき)のチャシ跡が多く、濠を組み合わせた大規模なものが多いことで知られています。現在、見学先として整備されているのはノツカマフ 1 号・2 号チャシ跡(ロシアとの外交交渉発祥の地)とヲンネモトチャシ跡(古くから住居跡が残されている)の 2 ヶ所です。当地はアイヌ人が多く住んでいて対外国人、対和人との闘いでシャシを築き砦の役割が多くあった。

(★)「チャシ」はアイヌ語で「柵囲い(さくかこい)」を意味し、砦、祭祀の場、見張り場など多目的な用途で使われて城というイメージがないが 100 名城の 1 つです。(パンフ)

<ノツカマフ 1 号・2 号チャシ跡>



<ヲンネモトチャシ跡>

